

お客様各位

塩化ビニル管・継手協会



電線共同溝共用FA方式通信用管路材

製品規格一部廃止のご案内

背景 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、首題の件、以下の通り一部生産終了に伴い製品規格を廃止させて頂き、製品規格の統一を図りたいと思います。また、廃止に伴い配管の構成部材が変更になりますので、電線共同溝関係各所へご周知頂きます様お願いいたします。

敬具

記

1. 製品分野

電線共同溝の通信管路に使用する共用FA方式用部材

2. 廃止製品規格

ボディ管一体式ロータス管関連規格

ボディ管ダクトスリーブ ボディ管ロータス管（起点側）

ボディ管ロータス管（終点側）



3. 廃止理由

共用FA方式が電線共同溝でご採用された当初から「ボディ管一体式ロータス管」を提供してまいりましたが、特殊部際での曲線配管が不可能であることから、特殊部際で曲線配管が可能な「ボルト固定式ロータス管」を10年前に開発し、二方式を提供してまいりました。この度、生産性の向上を図るため、製品仕様の一歩化を実施させて頂きたいと存じます。

4. 廃止時期

2024年3月末で規格を廃止させていただきます。

5. 統一製品

ボディ管インサート付きダクトスリーブ

ボルト固定式ロータス管



6. その他

ボルト固定式の特長・メリット等につきましては、添付資料をご参照ください。

7. 本件問い合わせ先

塩化ビニル管・継手協会 総務広報部 山口宛 (mail: siryo@ppfa.gr.jp)

TEL: 03-3470-2251 FAX: 03-3470-4407

以上

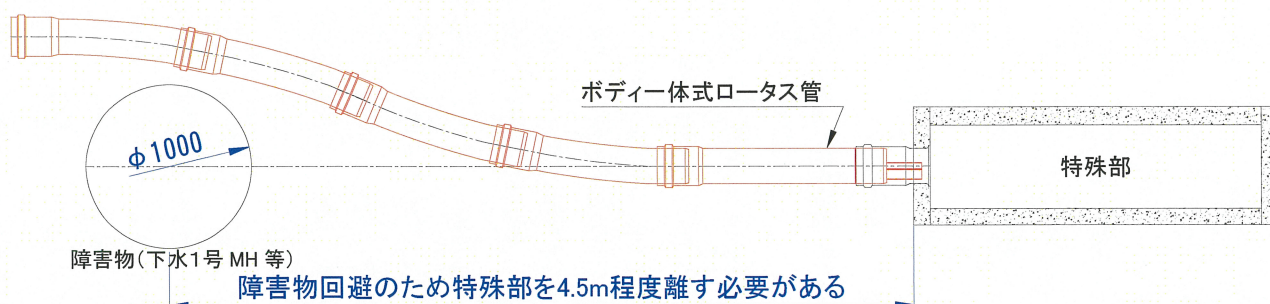
ボルト固定式ロータス管の特長について

塩化ビニル管継手協会

1. 従来方式に比べ、障害物までの距離を 1.5m 短くすることができます。

従来方式の場合、ロータス管直近にはボディ管と一体になったロータス管を使用するため、特殊部からすぐに障害物回避するまでに 4.5m 程度必要でしたが、ボルト固定式ロータス管を採用することにより、障害物を回避できる長さが 1.5m 程度短い 3m で回避することができます。

① ボディー一体式ロータス管を使用した場合の特殊部際の障害物回避配管例



② ボルト固定式ロータス管を使用した場合の特殊部際の障害物回避配管例

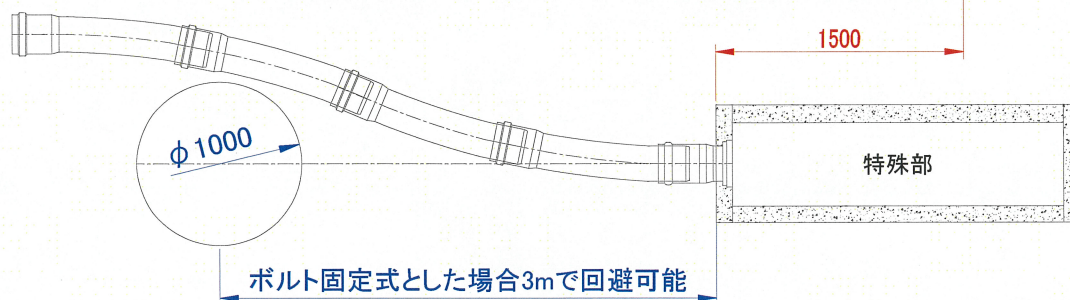


図1 特殊部際での障害物回避距離の差(例)

2. 特殊部への取り付けが、作業員の熟練度や作業環境に左右されずに施工できます。

ボルト固定式ダクトスリーブは、薄肉管であるため柔軟性があり、5mRのボディ曲管内に敷設できます。また、特殊部への取り付けは、特殊部内部からのロータス管に埋め込まれたナットにボルトを固定するものであり、作業員の熟練度や作業環境に左右されることなく一定の施工品質が確保できます。

なお、ボルト固定式ダクトスリーブの特長と詳しい施工方法については、塩化ビニル管・継手協会ホームページに掲載のビデオを御覧ください。

以下の URL を入力いただければ閲覧することができます。

<https://www.ppfa.gr.jp/assets/video/ccbox.mp4>

以上